

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

○ 原子力損害賠償の進捗状況	_____	1	～	2
○ 福島復興へ向けた取り組み	_____	3	～	6

原子力損害賠償の進捗状況について

＜原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績＞

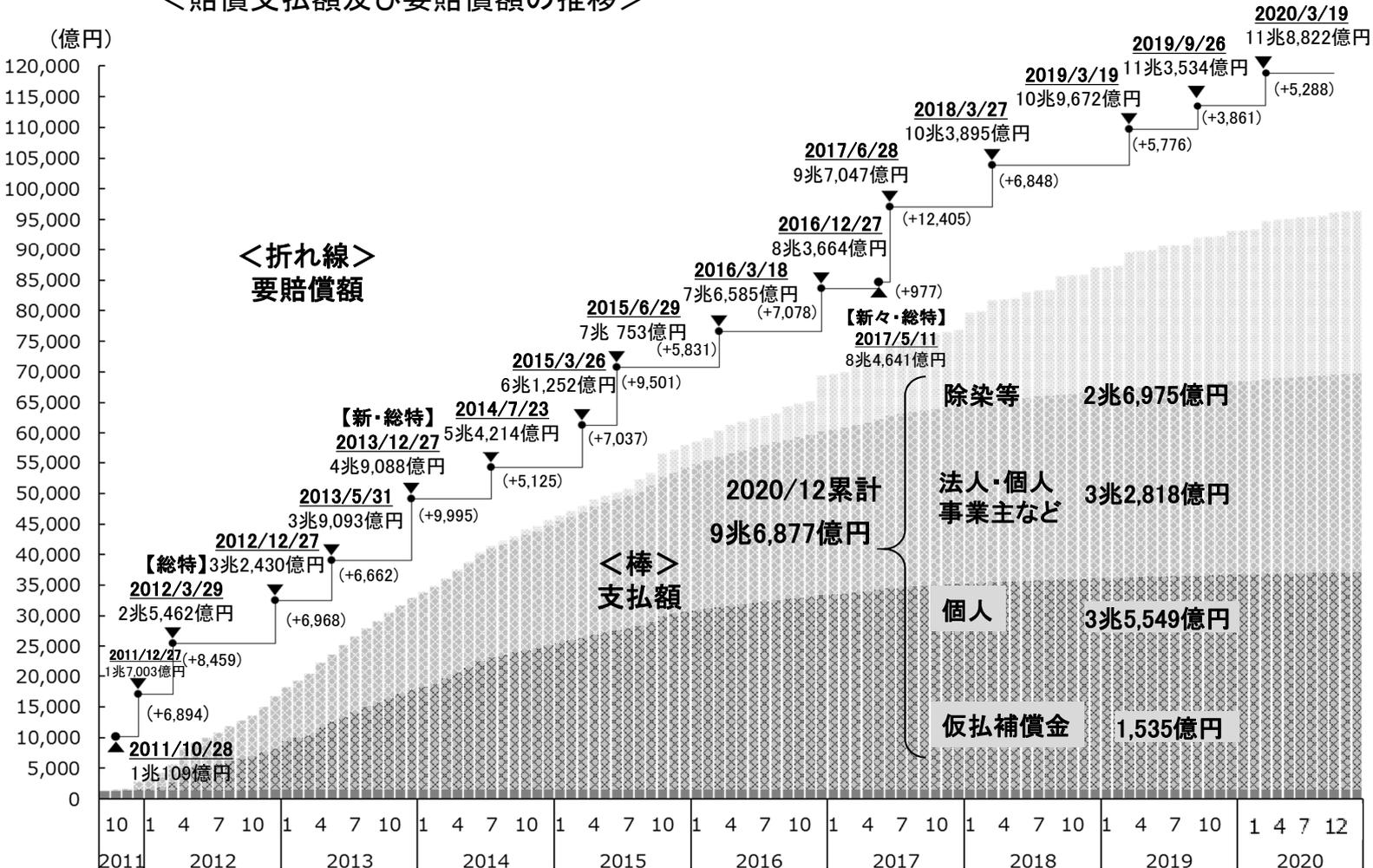
2020年12月28日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,434,000件	約519,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,298,000件	約445,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,549億円	約5兆9,793億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約9兆5,342億円 ①
仮払補償金		約1,535億円 ②
お支払い総額		約9兆6,877億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

＜賠償支払額及び要賠償額の推移＞



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2020年3月19日資金援助額変更申請)	合意いただけた実績 ^{※1} (2020年12月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,713億円	19,977億円
検査費用等	3,424億円	2,776億円
精神的損害	10,967億円	10,893億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,695億円	2,682億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	31,140億円	30,681億円
営業損害	5,390億円	5,376億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	18,477億円	18,558億円
一括賠償(営業損害、風評被害等)	3,234億円	2,560億円
間接損害等その他	4,038億円	4,186億円
III. 共通・その他	21,934億円	19,227億円
財物価値の喪失又は減少等	15,187億円	14,396億円
住居確保損害	6,497億円	4,581億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	45,033億円	26,975億円
合計	118,822億円	96,863億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 82%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2020年12月21日現在

申立件数	26,386件
解決件数	25,679件
全部和解件数	20,556件
取下げ件数	2,898件
打切り件数	2,223件
却下	1件
和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数	707件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは26,308件(12月28日現在)、月平均で約70件(2020年)

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※現在進行中の件数のうち、10件は一部和解が成立している

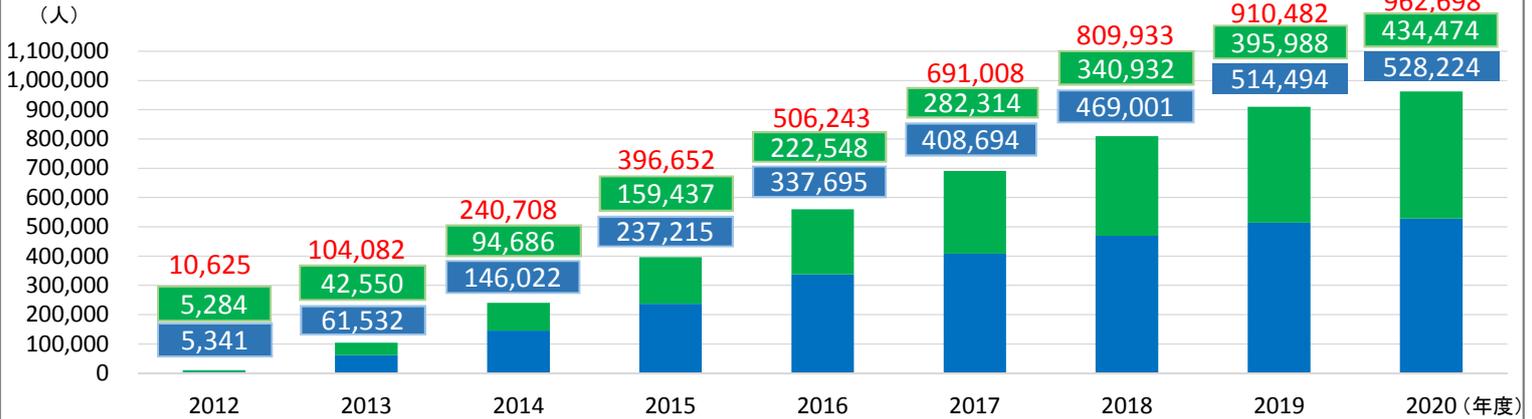
※和解金額は約3,305億円

福島復興へ向けた取り組み

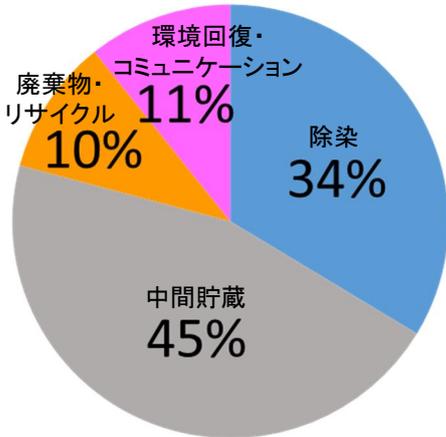
2020年12月の活動実績

除染等推進活動	4,136人
復興推進活動	1,637人
活動実績合計	5,773人

福島復興へ向けた活動実績 復興本社設立(2013年1月)からの累計



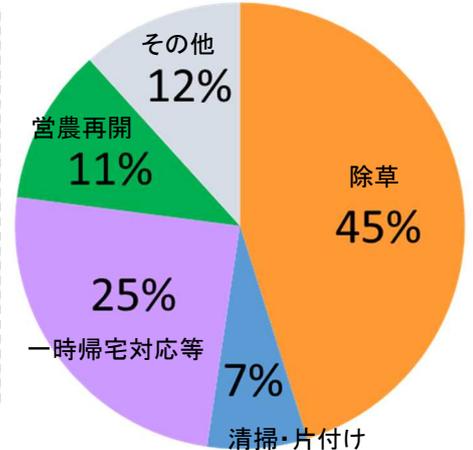
除染等推進活動の内訳 (2020年度)



<参考> 除染・復興活動の到達実績

- ・10万人到達・・・2014年 9月12日(復興)
2015年 5月 7日(除染)
- ・20万人到達・・・2015年10月15日(復興)
2016年11月18日(除染)
- ・30万人到達・・・2016年11月 3日(復興)
2018年 7月17日(除染)
- ・40万人到達・・・2018年 2月 1日(復興)
2020年 4月27日(除染)
- ・50万人到達・・・2019年11月 6日(復興)

復興推進活動の内訳 (2020年度)

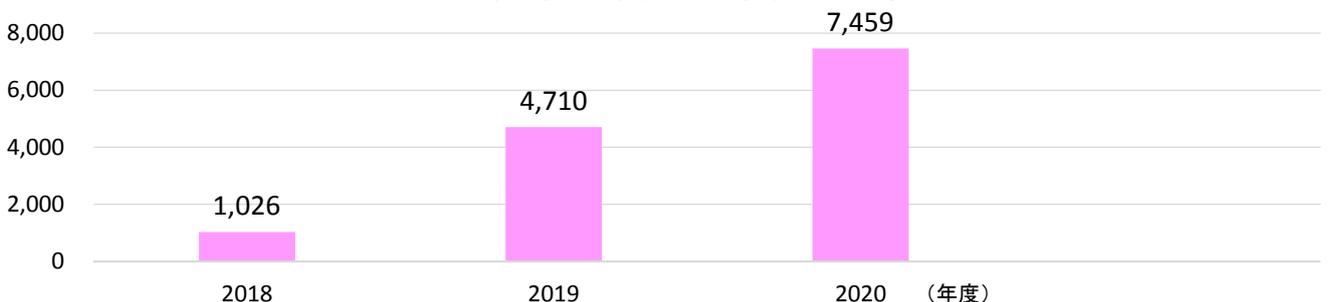


流通促進活動<イベント開催>

589日

流通促進活動実績<イベント開催>

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計



※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア・マルシェ

福島復興へ向けた取り組み①

地域のコミュニティづくりと新年イベントへの参画

取組内容

- 震災・当社原子力事故以降、当社は主にご帰還に向けたお手伝いを続けてきたが、復興の進展にともない、地域の方々と共にコミュニティづくりに参画させていただくようになった
- 今回は大熊町・双葉町・浪江町の新年イベントに参加させていただき、町民の皆さまの思いや町の歴史・文化に触れる貴重な機会となった

■ 「おおくまコミュニティづくり実行委員」への参画

- ・ 当社は、2018年11月より役場や企業をはじめとした地域の復興に携わる方々が一体となった「おおくまコミュニティづくり実行委員会」の一員として、コミュニティの再生を目指したイベント等の企画・運営に参画
- ・ 今年度は「サプライズ打上げ花火(10/2)」、「新春坂下ダムウォーキング(1/11)」を実施

<1月の活動「新春坂下ダムウォーキング」>



開催に向けた準備・調整



イベント参加者への受付案内・誘導



ウォーキングイベント当日の様子

<実行委員としてこれまで参画した主なイベント>



出典：広報おおくま 2018年10月号

「おおくまでバーベキュー！」(2018年9月)



「おかえり！なつ祭りinおおくま」(2019年9月)



「里がえりもちつき大会」(2020年1月)

■ 新年イベントへの協力

双葉町「双葉ダルマ販売」(1/9)

- ・ 一部避難指示解除後初の双葉町内(双葉町産業交流センター)で開催



いわき市内に保管するダルマを運搬



来場された方々への検温・消毒

浪江町「あるけあるけ初日詣大会」(1/1)

- ・ 震災前と同じ請戸海岸がゴール



道の駅なみえから請戸海岸までの参加者誘導

福島復興へ向けた取り組み②

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【「発見！ふくしま」キャンペーン～届け！ふくしま 秋の味覚～について】



実施期間 2020年10月3日(土)～2020年12月18日(金)

実施場所 東京都を中心とした首都圏、福島県、インターネット上に開設したキャンペーン特設サイトで実施

■ コロナ禍における巣ごもり需要などを踏まえ、新たな試みによるイベント開催や、情報発信にも工夫

1. キャンペーンオープニングイベントの様態を生配信(10/3)

- 東京会場(都内スタジオ)等にゲストを迎え、福島会場と福島県産食材を扱う都内飲食店2店舗をオンラインでつなぎ、福島会場からは「しゃくなげ牛」や「常磐もの」水産物の美味しさと生産者様の想いを、都内飲食店からは福島県産食材を使用した料理の美味しさを、それぞれお伝えしている様子をYouTube配信
- YouTubeでは生配信と再配信の合計で約31,000回もの視聴実績となった
- キャンペーン概要や特設サイトと連係したプレゼント企画等、全国の視聴者に向けて開催のお知らせと福島県産品のPRを実施することができた



オープニングイベントイメージ(都内スタジオ)



福島会場マルシェ(福島市)

オープニングイベント 視聴数	延べ約31,000回 (生配信・再配信合計)
-------------------	---------------------------

2. ECサイトを活用した福島県産品販売・プレゼント企画等(10/3～12/18)

- キャンペーン期間中、特設サイトにて福島県産品を最大30%offで購入いただいたほか、計4,000名様を対象とした福島県産品プレゼント企画を実施し、特設サイトには約122,000回のアクセス、プレゼント企画には約62,000件の応募をいただいた
- 福島県産品の魅力や美味しさについて、特設サイトやLINE「ふくしま応援隊」コンテンツ等で配信
- ECサイト「ふくしま市場」を活用した福島県産品の認知度ならびに全国の消費者への購入機会の向上



特設サイトイメージ



LINE「ふくしま応援隊」※動画イメージ
(※ LINE ID 「@glw2362m」)

ECサイト販売実績	約10,000点
プレゼント応募数	約62,000件

3. 映像・音・香りの演出を加えるなど、福島県産品販売会に工夫

- 首都圏の百貨店・スーパーマーケットや福島県内地元スーパーマーケットにおいて、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ福島県産品の販売会を多数開催
- 「発見！ふくしま」パッケージの福島県産新米や福島牛、水産物等を販売
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため試食販売が出来なくなったことから、ライブキッチンやPR動画放映など福島県産食材を調理する際の音や香り等の効果を加えた購入促進を実施



東急百貨店 二子玉川フードショー様
ライブキッチン(首都圏)



ルミネ立川様販売会(首都圏)



スーパーマート様販売会(福島県)

開催日数	延べ1,338日
------	----------

福島復興へ向けた取り組み③

福島県産品の流通促進に向けた取り組み

【「発見！ふくしま」キャンペーン～届け！ふくしま 秋の味覚～について】

4. 発見！ふくしまお魚まつりby デリバリー&テイクアウト、出張キッチンカー

- ・都内5箇所*を拠点に福島県産の水産物「常磐もの」等を使用したメニュー9品を特設サイトで販売し、ご自宅等へお届けする、日本初となるデリバリー&テイクアウトフェスを開催(11月26日～30日)
- ・「常磐もの」メニューのうち4品を、キッチンカーにて有明と横浜の2箇所に出店(11月22日～30日の内7日間)
- ・ご家庭などで気軽に「常磐もの」等を味わえる機会を創出することができ、連日売り切れるメニューが出るなど大変好評

※新橋、新宿、三軒茶屋、品川戸越、浅草橋



特設サイトイメージ



出張キッチンカー

販売実績	
デリバリー&テイクアウト (①)	約11,500食
出張キッチンカー (②)	約600食

■ 飲食店とコラボした福島県産品フェア開催等で約19,400食を販売

1. 雑誌「東京カレンダー(11/21発売)」とコラボした飲食店フェア

- ・東京カレンダー様とタイアップし、都内などで人気の飲食店9店舗が約1ヶ月間(11月中旬から12月中旬)、福島県産食材を使用したメニューを提供するとともに、同雑誌1月号でフェアの内容や福島県産品の魅力を伝える記事を掲載
- ・掲載店舗は、フェア期間中ほぼ満席となるなど好評で福島県産品の美味しさをPRできた

2. 小田急百貨店様、柿安本店様による飲食店フェア

- ・小田急百貨店様専門店街の販売会と初めて連携した飲食店フェア(10/30～11/10)や柿安本店様銀座店で福島県生産者応援フェア(11/1～11/30)を開催

3. 美味しさ実感 福島牛グルメフェア

- ・焼肉・鉄板焼き店様を中心に5社9店舗が約1ヶ月間(11月中旬～12月中旬)、福島牛を使用したメニューを提供

販売実績	
雑誌「東京カレンダー」と コラボした飲食店フェア (③)	約3,400食
小田急百貨店様、柿 安本店様フェア (④)	約2,400食
福島牛グルメフェア (⑤)	約1,500食
①～⑤合計	約19,400食



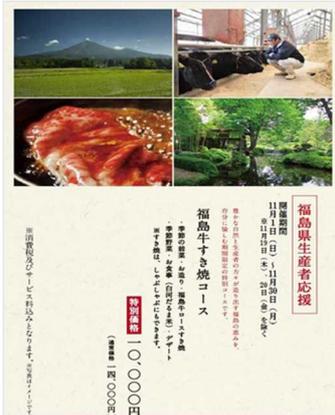
東京カレンダー 1月号表紙



誌面での店舗紹介抜粋



小田急百貨店様ふくしまフェア



柿安本店様フェア